

# な街づくり ふ



## 火災や自然災害に挑む 消防士

いつ、どこで起こるかわからない火災や自然災害。一刻でも早く現場に到着し、それぞれの場に対応できるようにと、日々訓練に励んでみえる消防士。私たちに安心感を与えてくれる消防士の方にお仕事の様子をうかがいました。

取材協力：岐阜市消防本部・岐阜中消防署

消防隊だとすぐにわかるように、オレンジを基調とした制服で活動します。常に訓練をしています。想定したものと同じ災害は起こりません。現場の状況を的確に判断して、人命を最優先に考えて救助にあたります。様々な災害に対応できるように、いろいろな資格も取得しています。例えば、水害に備えて船の運転ができる免許ももっています。災い起こらないことが一番ですが、もし起きるにすぐ対応できるように気を緩めず救助した方が回復され「ありがとう！」と感謝いただけることが一番うれしいです。



大島 恵子 消防士長

若手の大島さんに聞きました！

### 「どうして消防士になったの？」

● やりがいのある仕事だと思ったからです。人のために何か役に立ちたいと考えたときにこの職業が浮かびました。そして、男性だけでなく女性にもできるんだということも示してくれて。訓練はとても大変ですが、一生懸命がんばっています。だんだん責任が大きい仕事も任されるようになりました。



防護服の着用もアツという間



どんな災害にでも対応できる資機材



藤井 智弘 消防士

2年目の藤井さんに聞きました！

### 「消防士になるために必要なことは？」

● まずはいろいろな知識ですね。それから体力は絶対に必要です。先輩たちとチームを組んで仕事をするので、指示を聞いて従うことや仲間関係をしっかりと作る力も大切になってきますよ。



消防車内のナビで現場まで急行



司令室で全ての情報を管理



人命救助の機器がびっしり



あせらず、よく考えて行動



「消防士」と言っても…☆  
消防士は消防士？でも、その役割はさまざまです。  
火災に対応する「消防隊」。けが人や病気の人の対応をする「レスキュー隊」。水害などというように、役割が決まっています。消防士は、それぞれに役割があるので安心していただけるからこそ安心できるんですね！  
消防士の仕事をめざしてみませんか？



小森 勝 救急救命士

救急救命士として、いつでも正しい判断が求められます。要救助者やその家族、そして部下の隊員たちに不安を与えないよう冷静に処置しなければなりません。1日に平均8回、多いときで15回以上は出勤します。緊張の連続ですが、搬送した方から「おかげで良くなりました。ありがとうございました。」と言われたときは、本当にやっつけて良かったと思います。新しい救命法も常に学習・訓練しています。

## 安全な街づくり

いっぱい！みなさんで住みやすい岐阜市にしていましょ！～



少年消防クラブ  
防火ポスターの製作！



救急救命講習  
心肺蘇生法のマスターは？



AED(自動体外式除細動器)  
いざという時のために…



はしご車体験  
消防士の仕事を知る